

<p>草の根活動 交流NEWS 総会成功へ④</p>	<p>第740号 2025年9月19日 会員数158万3382人 読者数4791人</p>	<p>消費税をなくす全国の会 〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201 電話03-3940-0401 FAX03-3949-9885 Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp</p>
------------------------------------	---	---

# 総会まであと16日 5千人読者まであと186人



## 必ずやり抜きましょう!

会報読者拡大の報告や自主目標を決めたとの報告が全国から寄せられています。5千人読者まであと186人です。読者からは「ノー消費税」をいつも読んでいます。8月号の『国債とは?』は、とても勉強になりました。「400号を超えて会報を刊行していることに敬意を表するとともにイチ読者として大変学ぶことが多い」などの声が寄せられて

います。国会では日本共産党の小池晃書記局長と立憲民主党の安住淳幹事長が会談し、消費税減税などについて意見を交換。小池氏は「参院選で民意が示された消費税減税の実現に向けて力を合わせていこう」と強調しました。各県の会からの自主目標を合わせると180人を超えます。消費税減税を実現するため5千人読者を必ずやり抜きましょう!

### 議員さんたち14人が読者に

#### 福岡の会

「大変遅くなりました。増えました!」。19日、事務所に来て受信ボックスを開くと福岡の会から嬉しいメールが届いていました。地方議員が11人、その他個人が3人の合計14人が読者になってくれました。共産党の「全県活動者会議」の参加者40人ほどに見本誌を手渡し、18日の午後、田崎事務局長と曾我部さんの2人で購読を訴える「電話作戦」。1時間ほど電話にかじりつきました。北九州市議団は議員団会議で話し合い、7人全員が購読することに。それ以外の議員さんからは「消費税問題で頑張らないといけない。役に立つと思うので」と購読。他の世話人にも報告して、「見本誌を活用して電話でも増やせる」と激励。目標の200人読者達成に向けてさらにギアを入れています。

10月1日は県各界連が呼びかけて県内10カ所で「10.1怒りの行動」を計画。公園や駅前などで大宣伝をします。「消費税減税がもっと世論になるよう、全国で頑張りましたよ」と曾我部さんはメールを送ります。

### 6人の読者を拡大



#### 神奈川の会

県内の共産党の54人の議員さんに宣伝誌を送付した神奈川の会。6人の議員さんが購読してくれることになりました。読者はまだ増えます。三浦常任世話人は「引き続き頑張る」と決意しています。

### 新たな担当者決まり購読も



#### 島根の会

これまで活動が休眠状態で、県の会として会報読者が空白だった島根の会。今回、共産党県委員会の新たな担当者が決まりました。「消費税は大事な問題なので」と自ら手を上げて担当者に。総会に向けての活動報告なども送ってくれました。

これを機に会報も購読。読者空白が克服されました。「実情に合わせた取り組みにしかありませんが、消費税減税に願いをもつ方につながる努力をしていきたい」と今後の抱負を語ります。

★**北海道の会**は井上事務局長(北海道連事務局長)が民商の事務局長会議で会報購読を訴え。早速、札幌北部民商の事務局長が婦人部の役員に

「こんなのがあるよ」と見本誌を渡したところ

「私もなくす会の活動にかかわるよ」と購読することに。

★**熊本の会**は西川常任世話人が若いころからの知り合いの市議員さんに購読を訴え

「いいよ」と快諾。「あと186人ですね。じゃもう少し頑張りますね」と西川常任世話人。



### 第36回総会

10月4日(土) 13時~17時

全商連会館3階大ホール(東京・目白) オンライン併用 神戸女学院大学名誉教授の石川康宏さんが「包摂のアプローチで消費税減税の大運動を」テーマに学習講演をします。

